

医療と介護の連携 その人らしさをサポート

「何でもご相談ください！」

株式会社ろくごうめでいかる

〒019-1402 秋田県仙北郡美郷町野中宇崎58-1 TEL. 0187-73-6332 FAX. 0187-73-6335

「本質的な看護や
介護で地域に
寄り添いたい」
と近藤さん



同行援護事業では、
盲ろう者への対応も
専門スタッフが
行っている。
この写真は「指点字」
通訳中。



自分らしさを諦めてほしくない

株式会社ろくごうめでいかるの近藤輝佳代表は、農家から訪問看護事業への転身という異色の経歴をもつ。

「きっかけは、乳幼児健診で子どもに言葉の遅れが見られたことでした。同じ境遇の親御さんたちと話す中で感じられた将来に対する不安というものは、私たちも同じでした。そんな折、今度は祖母が自宅で転び、入院することになったんです」。

腰の骨を折る重傷であったが、病院での長期受け入れは難しく、施設への入居を余儀なくされた。しかし、施設での慣れない生活からか毎日のように自宅へ帰りたくと繰り返す祖母の姿を目の当たりにした。

「妻は看護師ですが、共働きで自宅介護は困難でした。途方にくれていた時に、妻から訪問看護事業をやってみないかと話があったんです」。

農業の経験しかなかった近藤代表は悩んだものの、家族、そして同じ悩みを抱える人たちのため、「すべて医療介護が必要な人たちへのサポートとなる事業」の立ち上げを決意した。

人と、地域と共に歩むサービスへ

子どもも大人も読めるよう、社名はひらがなで、生まれ育った地域に恩返しできるよう想いを込めて“ろくごうめでいかる”と名付けた。

「介護だけでなく、医療行為を伴う訪問看護を必要とされる方は多いと感じながらも、会社として実際に事業を運営することに関しては素人同然でした。経営計画や労務管理など、よろず支援拠点を通してアドバイスを受けられたことで改善につながることができました」。今では訪問看護事業のほかに、医療依存度の高い方を対象とした老人ホームやグループホームの運営、就労継続支援など6つの事業を手掛けている。職員にもその人に一番必要だと思うサービスを行う姿勢が浸透しており、利用者からの信頼度は高い。

「ご本人の意思を尊重する。当たり前のことですが、職員全員で取り組んでいます。たくさんの人たちに助けられてきたので、感謝の気持ちを返しながらか地域と共に成長していきたいと思っています」。

活用事例

秋田県よろず支援拠点

売上拡大、経営改善など経営上のあらゆる悩みの相談に対応。
コーディネーターを中心とする専門スタッフが適切な解決方法を提案します。

お問い合わせ 秋田県よろず支援拠点 TEL.018-860-5605